

Ⅱ 共通科目

研究倫理	17
保健医療学研究法	18
医療科学特論	19
保健医療システム特論	20
医療組織経済学特論	21
保健医療と教育論	23

授業科目名 (科目区分)	担当教員 職・氏名	対象者	開講時期	単位数	時間数	必修・選 択の別	科目等 履修生
研究倫理 (共通科目)	非常勤講師・浅井 篤 非常勤講師・大北 全俊	博士前期課程 1年	前期	1	15	必修	否
授業概要	保健医療分野の研究活動を遂行するうえで、知っておくべき研究倫理について教授し、高度専門職業人としての責任ある態度と高い倫理性を涵養する。						
一般目標	1. 研究活動の遂行における研究倫理の意義が理解できる。 2. 保健医療分野に特徴的な研究倫理について理解できる。 3. 自己の研究遂行における責任ある倫理的行動を目指すことができる。						
到達目標	1. 研究倫理の意義を説明できる。 2. 研究における不正行為や問題となる利益相反を具体的に説明できる。 3. 保健医療分野の研究倫理における特徴を理解し、自己の研究に反映することができる。						
成績評価方針 評価方法 および基準	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート (50%) : 「自己の研究について、起こりうる倫理的課題とそれに対する方策」 起こりうる具体的な課題が列挙できているか、その課題に対する具体策を説明できているかで評価 ・授業内でのショート・プレゼンテーション (20%) : 1~6回目 (学習内容の理解度、見解の論理性) ・意見交換への参加積極性 (30%) : 7~8回目の演習において、自分の意見を述べることができているか、他者の意見を踏まえて発展的に思考できているかを評価 						
授業形式	対面授業 (遠隔授業となる場合があります)						
授業計画							
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当		
1	5. 4. 15 (土) 2-5 5. 4. 16 (日) 1-4	研究倫理の意義	研究倫理の意義、科学的合理性、ガイドライン、法	事前学習と復習	浅井 大北		
2		研究における不正行為	ねつ造、改ざん、盗用の実際と対策、誠実な研究実施	事前学習と復習			
3		研究における利益相反	研究助成の申請と審査、研究経費、研究組織	事前学習と復習			
4~6		保健医療分野の研究倫理の特徴	介入、侵襲、被験者保護、観察研究、同意取得、患者・市民参画など	事前学習と復習			
7~8		演習	自己の研究計画やデータ管理に関する具体的課題について討議	レポート			
教科書 参考図書	<p>指定教科書はない。使用する資料は授業時および事前に配布する。</p> <p>参考図書： 日本学術振興会『科学の健全な発展のために』、丸善出版、2015年、 黒木登志夫『研究不正 科学者の捏造、改ざん、盗用』、中公新書、2016年、 神里彩子、武藤香織編『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』、東京大学出版会、2015、 滋賀医科大学医学部附属病院臨床研究開発センター企画、田代志門監修、『研究倫理教材DVD』(2015年4月)、株式会社桜映画社制作 笹栗俊之・武藤香織編『シリーズ生命倫理学 医学研究』、丸善出版、平成24年、東京、Murphy, TF, Case studies in biomedical research ethics, MIT press, Cambridge, 2004. Gregory Pence Medical Ethics 8th edition, McGraw Hill, New York., 2017.</p>						
履修上の注意	本科目と併せ、学内で行われる、研究倫理の研修会、研究倫理eラーニングに必ず参加すること。						
学生への メッセージ	目的意識を持って臨んでください。						
e-mail・研究室 (連絡先)	浅井 篤 : aasai@med.tohoku.ac.jp, okita@med.tohoku.ac.jp 東北大学大学院医学系研究科医療倫理学分野 電話 022-717-8197、ファックス 022-717-8198						

授業科目名 (科目区分)	担当教員 職・氏名	対象者	開講時期	単位数	時間数	必修・選 択の別	科目等 履修生
保健医療学研究法 (共通科目)	准教授・蓬田 伸一 教授・藤井 浩美 准教授・鈴木 育子	博士前期課程 1年	前期	2	30	選択	可
授業概要	特別研究を実施するための基礎となる研究方法論を教授する。また、修士論文の作成や研究発表に関する基礎的知識も教授する。 (蓬田伸一) 保健医療学の基礎となる考え方や、論文を書くために必要となる基本的知識を教授する。 (鈴木育子) 調査研究の基礎、および質的研究手法と質的・量的アプローチをつなぐ混合研究法について教授する。 (藤井浩美) 実験による研究手法の概説とそれに必要な統計学的手法およびプレゼンテーション技法について教授する。						
一般目標	特別研究を実施するための基礎となる研究方法論を修得する。また、修士論文の作成や研究発表に関する基礎的知識を修得する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究とは何か、どのように研究を進めるかを理解できる。 2. 看護学、理学療法学および作業療法学の研究の基礎となる自然科学および統計学の基礎知識（考え方）を理解できる。 3. 英語の論文を抵抗なく読めることができる。わかりやすい研究発表を行えるようになる。 4. 論文執筆をスムーズに進めるためのポイントについて説明できる。 5. 調査研究の基礎および質的研究方法の特徴を研究手法の比較により説明できる。 6. 質的・量的研究をつなぐ混合研究法の特徴を説明できる。 7. それぞれの研究手法の利点と限界を知り、自分の研究目的に適した研究方法を検討することができる。 						
成績評価方針 評価方法 および基準	講義内容についてのディスカッション等への参加度（60%）、質疑応答（40%）の合計により、総合的に評価する。						
授業形式	対面授業を基本とするが、状況により遠隔授業（録画形式または配信形式）で実施する						
授業計画							
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など	担当	
1	毎週 水曜日 6限目	研究の基礎	研究を始めるに当たり、知っておかなければならないこと		蓬田 自分が実施する予定の研究内容と講義の内容を対比しながら確認してください。	蓬田	
2		保健医療学研究の基礎	研究計画の立案法①				
3		保健医療学研究の基礎	研究計画の立案法②				
4		保健医療学研究の基礎	研究のデザインを学ぶ。				
5		保健医療学研究の基礎	「研究の質」について学ぶ。				
6		調査研究	講義と論文の抄読を通して、 ・調査研究、質的研究、混合研究法の概要 ・論文執筆の基礎 ・様々な研究の構造 を学ぶ。	鈴木 文献抄読を積極的に行い、より良い研究のための可能性を探ってください。	鈴木		
7		質的研究					
8		混合研究法 論文の書き方					
9		トランスレーショナルリサーチ					
10						ボク講師	
11		研究のすすめ	これまでの研究を通し、作業仮説の立て方を学修する。	藤井 文献を抄読し、他者の研究デザインや研究方法を積極的に学んでください。	藤井		
12		研究結果の評価と統計Ⅰ	尺度水準、ノンパラメトリックとパラメトリック、信頼性と妥当性を理解する。				
13		研究結果の評価と統計Ⅱ	統計的仮説検定および統計的推定に慣れる。				
14		プレゼンテーション技法	プレゼンテーション技法を身につける。				
15		どのような論文を書くか	どのような文を書くかを身につける。				
教科書 参考図書	渡部欣忍 著「あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！」（南江堂） 市原清志 著「バイオサイエンスの統計学」（南江堂） J. W. クレスウェル&V. L. プラノクラーク 著 「人間科学のための混合研究法」（北大路書房）2010 D. F. ポーリット&C. T. ベック 著、近藤潤子 監訳「看護研究 原理と方法」第2版（医学書院）2010 米国心理学会（APA）APA論文作成マニュアル第2版。（医学書院）2011						
履修上の注意	(蓬田伸一) 各分野に共通な考え方を身につけてほしい。 (鈴木育子) 9, 10 回目は、看護学研究法特論の外部講師による講義（7月8日（土）3, 4限、Zoom 予定）と合同とする。 (藤井浩美) 日頃抱いている具体的な研究疑問を持って参加してほしい。						
学生への メッセージ	保健医療学研究法の基礎を学ぶと共に 3 分野合同の授業なので院生同士親交を深め、研究を進める上で協力し合えるようになってほしい。						
e-mail・研究室 (連絡先)	蓬田伸一：研究室 16 syomogida@yachts.ac.jp 鈴木育子：研究室 8 isuzuki@yachts.ac.jp 藤井浩美：研究室 27 hfujii@yachts.ac.jp						

授業科目名 (科目区分)	担当教員 職・氏名	対象者	開講時期	単位数	時間数	必修・選 択の別	科目等 履修生
医療科学特論 (共通科目)	学長 上月 正博	博士前期課程 1年	前期	2	30	選択	可
授業概要	種々の疾病における原因(病因)、発症の機序、病気の進展過程、臨床像との関連、転帰、対応や治療戦略などについて、最新の知見やトピックスをもとに専門的に学習し、大学院での研究の基盤および研究の手掛かりを獲得する。						
一般目標	循環障害、腎臓障害、呼吸障害、代謝障害などについて、総合的に学習するとともに、それらの診断や治療についての最新の話題、トピックを題材として、最新の医学・生命科学的知見をどのように獲得するかについて学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの生体を構成する組織の構築、構成細胞の特徴、機能などを説明できる ・循環障害、腎臓障害、呼吸障害、代謝障害などの主要疾患の病態を説明できる ・各種病態・疾患に関する最新のトピックについて、情報にどのようにアクセスし、どのように理解するかを体験する ・医学・生命科学分野の英文文献について、できるだけ短時間で理解し、その内容を総括・批評できる 						
成績評価方針 評価方法 および基準	毎回の講義前に、事前に新たな英文論文を自力で検索し精読しておき、授業で発表する。事前学習のレベルと授業での発表の態度、課題レポートの提出とその内容を総合的に評価する。						
授業形式	種々の疾病や生命科学の知見に関する最新の知見やトピックスを題材とした文献の抄読を中心に、討論形式の授業をおこなう。履修者の状況に応じて、対面授業またはオンライン授業かを決定する。						
授業計画							
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当		
	毎週 水曜日 7限目	医療科学を考える上では、臓器・組織での病変の理解とその領域の進歩をいち早く理解することが重要である。本講義では、最近の英文学術論文を事前に独自に学習し、講義で発表することで、最近のトピックスについても学ぶ。	実際の文献を用いて、その内容について、ゼミ形式で討論する。	毎回、英文論文を自力で探して抄読するのが必須なので、授業の前に充分に英文論文の内容を理解するように準備すること。	上月		
教科書 参考図書	特定の教科書は指定しない。重要な話題などについては講義の中で随時紹介する。						
履修上の注意	なるべく討議形式の講義をこころがけるので、能動的、積極的な姿勢で講義へ参加すること。また、オンライン形式の授業の可能性もあるので、インターネット環境などについて、確認すること。						
学生への メッセージ	医学・生命科学は日進月歩であり、その理解、知識の習得は臨床の場においても必須であり、社会人になってからも不断の学習が欠かせない。そのためには学生時代から英文論文を自力で読む習慣をつけることで養われる。						
e-mail・研究室 (連絡先)	上月正博：学長室 (686-6601) kohzuki@yachts.ac.jp						

授業科目名 (科目区分)	担当教員 職・氏名	対象者	開講時期	単位数	時間数	必修・選 択の別	科目等 履修生
保健医療システム特論 (共通科目)	非常勤講師 関田 康慶	博士前期課程 1年	前期	2	30	選択	可
授業概要	保健医療介護の一翼を担うコメディカル分野に必要な保健医療介護システムを様々な視点から理解するシステムズアプローチを教授する。具体的には、システムズアプローチの内容、保健医療介護の機能ユニット分析、機能ユニットの連携統合、病院機能評価、医療の質・安全評価と情報システム、グループ診療、病院統合、地域保健介護福祉連携システム設計、地域包括ケアのシステム化とコミュニティの構築等						
一般目標	保健医療介護のシステムズアプローチを理解して、システム分析やシステム設計に応用できる。						
到達目標	保健医療介護システムの理解、保健医療介護を機能ユニットの統合システムとして把握できる。保健医療介護機能分化と連携・統合の効果や効率について理解できる。保健医療介護サービスの効果や効率の評価方法について理解し応用できる。医療安全・質評価や情報システムについて理解し説明できる。						
成績評価方針 評価方法 および基準	成績評価方針：論理的思考や説明力を評価する。 評価方法：積極的な講義参加とレポート。レポート評価は理解力、説明力、整合性を評価する。 具体的課題について学生との双方向及び学生間相互による討論内容を踏まえて評価する。 評価基準：論理展開、知識レベル						
授業形式	対面方式 集中講義 (予定日：8月19日(土)、8月20日(日)、8月26日(土))						
授業計画							
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当		
1		1. システム概念とシステムズアプローチ	システム理論の基礎として、システム概念、システムズアプローチ、システムの制御方法を解説し、保健医療介護にどのように適用されるかについて課題を発見しつつ教授する。保健医療介護が地域保健法、医療介護保険制度、医療法、老人福祉法等の枠組でどのようにシステム化され、機能分化し統合マネジメントされているかについて解説する。また保健医療介護組織の安全性評価、地域医療計画地域医療構想や地域包括ケアの設計方法やコミュニティ化、等について文献を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	保健医療介護の制度やシステムについて文献やHP、職場環境の情報等を活用して課題を発見しておくこと。	関田		
2		2. フィードバックコントロールとフィードフォワードコントロールの保健医療介護システムへの適用、階層システムとネットワークシステム					
3		3. 確率、ファジネス、ホロン。ホロニックシステム、フラクタル・複雑性システム、還元主義とホーリズム、演繹的アプローチと帰納的アプローチ、オープンシステムとクローズドシステム、アナログシステムとデジタルシステム					
4		4. 保健医療システムの現状分析					
5		5. 保健医療介護サービスのシステム特性比較					
6	5. 8. 19 (土) 1-5	6. 医療保険制度とDPC/PDPS					
7		7. 医療機能分化と病床占有率のコントロール					
8	5. 8. 20 (日) 1-5	8. 保健医療介護福祉機能ユニットの現状と機能ユニット統合マネジメント					
9		9. 医療機能分化のエントロピー測定(MDC, 診療科)					
10	5. 8. 26 (土) 1-5	10. 医療安全機能のモニタリング評価方法と情報システム					
11		11. 地域医療構想、地域医療計画と地域連携システム					
12		12. グループ診療と病院再編統合					
13		13. 医療機能評価機構の機能評価アプローチ					
14		14. 介護保険制度と機能ユニットシステム					
15		15. 地域包括ケアシステムの設計と現状分析					
		16. ケアマネジメントの構造分析					
		17. 新型コロナウイルス感染症の保健医療介護システムへの影響、経済資源配分問題					
		18. 大規模災害時の保健医療システム・情報システム					
教科書 参考図書	関田康慶編著「医療安全モニタリングの新しい視覚化アプローチ～医療安全ピラミッドモデル・理論によるグラフ分析」、メディカ出版 2021年7月 参考：山本玲子編「衛生・公衆衛生学」、アイ・ケイコーポレーション、2023年3月						
履修上の注意	双方向の議論をするので、授業内容について事前に調べておくこと。						
学生への メッセージ	「為せば成る、為さねば成らぬ何事も成らぬは・・・」この気持でチャレンジに喜びを見つけよう						
e-mail・研究室 (連絡先)	関田 康慶：yasuyoshi.sekita.d2@tohoku.ac.jp						

授業科目名 (科目区分)	担当教員 職・氏名	対象者	開講時期	単位数	時間数	必修・選 択の別	科目等 履修生
医療組織経済学特論 (共通科目)	非常勤講師 関田 康慶 非常勤講師 加藤 智章	博士前期課程 1年	前期	2	30	選択	可
授業概要	<p>保健医療活動における経済学・経営学的視座を医療組織分析と経済・経営評価におき、広く保健医療サービスについて探求する。 <オムニバス方式> 関田 保健医療の一翼を担うコメディカル分野に必要な保健医療介護制度、保健医療介護機能の分析、保健医療組織マネジメント・特性分析、保健医療経済・経営分析、医療介護経営組織管理方法論について教授する。 加藤 保健医療サービスをめぐる財源構成、当事者関係および医療提供体制の在り方をフランスなどとの比較を交えて考察する。加えて、地域共生社会・地域包括ケアサービスをめぐる地域特性について検討する。</p>						
一般目標	<p>関田 保健医療介護機能・組織特性と経済資源間の関係の理解、保健医療介護機能分析や保健医療介護の経済分析・経営分析の概念や方法を理解して応用・活用できる。 加藤 保健医療サービスと総称されるサービスのなかでも、いくつかの代表的なサービス（療養の給付・介護給付・医療扶助など）についての基本構造（負担と給付の関係、当事者関係など）を説明できる。</p>						
到達目標	<p>関田 保健医療介護の組織構造や機能を経済・経営資源、機能ユニットの視点から理解できる。保健医療介護サービスの効果や効率の評価方法について理解し応用・活用できる。医療安全や医療の質評価について理解し説明できる。医療介護組織のマネジメントや分析方法を理解し説明できる。 加藤 以下の2点を到達目標とします。 ・医療従事者として、保健医療サービス体系における該当サービスや職種の特性を把握し、保険医療活動全体における自分の立ち位置を理解し、説明できる。 ・具体的な保健医療サービスに関係する当事者の存在を、様々な情報ツールを用いて、紹介できる。</p>						
成績評価方針 評価方法 および基準	<p>関田 成績評価方針：論理的思考や説明力を評価する。 評価方法：積極的な講義参加とレポート。具体的課題について学生との双方向及び学生間相互による討論内容を踏まえて評価する。レポート評価は理解力、説明力、論理性を評価する。 評価基準：論理展開、知識レベル 加藤 成績評価方針：問題意識・論理的思考力・説明力を評価する。 評価方法：到達目標に関連する質問に対する回答力 授業における参加の度合（発言力、疑問力、批判力） レポートによる問題の理解力・説得力・説明力 評価基準：社会科学に正解はない、という方針の下、自分の頭で考えることを高く評価する。 基本的な枠組を説明できることが成績評価の基準となる。 レポートの評価基準は、制度構造をどこまで簡易平明な文章で説明できるかを重視する。</p>						
授業形式	<p>関田：対面授業 集中講義（予定日：6月10日（土）、7月1日（土）） 加藤：対面授業（遠隔授業となる場合がありますが、対面授業を希望します。）</p>						
授業計画							
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当		
	5.6.10 (土) 2-5 5.7.1 (土) 2-5	1. 社会保障機能の保健医療介護機能 2. 診療報酬評価の仕組みと DPC/PDPS 3. 保健医療介護市場と一般市場との比較、保険機能の特性と比較 4. 保健医療介護マネジメントとサービス特性 5. 病院機能・組織の形態と組織管理 6. 医療機能ユニットの現状と機能・経済的評価 7. 医療の質と医療安全評価方法 8. 患者の受療行動分析 9. 医療組織の経営効果・効率測定 10. 保健医療介護経済分析方法 11. 保健医療介護経営分析方法	社会保障の機能と実態を多面的に理解する。保健医療介護が地域保健法、医療・介護保険制度、医療法、老人福祉法等の枠組みで、保健医療介護がどのように機能し、マネジメントされているか、役割分担・連携について検討する。また保健医療介護組織の活動成果や資源利用効率の評価方法などについて、文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。	保健医療介護の制度や機能、経済・経営評価について文献を読み知識を深め、課題を発見すること。	関田		

	<p>5.6.2 (金) 2-5</p> <p>5.6.3 (土) 1-3</p> <p>5.6.4 (日) 調整日</p>	<p>1. 保健医療サービスをめぐる財源構成</p> <p>2. 保健医療サービスの負担と給付の関係</p> <p>3. 各種保険医療サービスの当事者関係</p> <p>4. 諸外国における医療提供体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障全体および国民医療費は、どのような財源から構成され、これらが後期高齢者医療・介護保険などに対してどのように分配されているか。 ・医療保険や介護保険における給付が、いかなる当事者のもとで支給されるのか。 ・医療介護総合確保法に基づく各都道府県の確保基金の状況および医療構想の進捗状況、あわせて各都道府県の地域特性についても検討する。 ・余裕があれば、理学療法士・作業療法士が登場する裁判例や、フランスと比較して検討する。 	<p>社会保障制度やそれを構成する個別制度の概要、医療保険あるいは生活保護制度の財源構成、各都道府県の医療構想の進捗状況など、インターネットや参考文献等を通じた情報の収集、知識の整理、疑問点の発見が求められる。</p>	<p>加藤</p>
<p>教科書 参考図書</p>	<p>関田：関田康慶編著「医療安全モニタリングの新しい視覚化アプローチ～医療安全ピラミッドモデル・理論によるグラフ分析」、メディカ出版 2021年7月 参考図書：山本玲子編「衛生・公衆衛生学」、アイ・ケイコーポレーション、2023年3月 加藤：「社会保障法（第8版）」（加藤智章・菊池馨実・倉田 聡・前田雅子）有斐閣アルマ 「世界の病院・介護施設」（加藤智章編）法律文化社 2020年 「医療制度改革」（松本勝明編）旬報社 2015年 「社会保険核論」旬報社、2016年</p>				
<p>履修上の注意</p>	<p>関田：保健医療介護の制度や機能、経済経営評価等に関する情報を収集して課題を発見しておくこと 加藤：厚生労働省HP・OECD 経済審査報告書などを通じて、医療・介護に関連する制度やシステムに関連する情報を把握しておくこと</p>				
<p>学生への メッセージ</p>	<p>関田：「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の・・・」この気持で 加藤：追って指示しますが、出身（ないし勤務地の）都道府県の医療介護総合確保基金に関する批判的検討あるいは二次医療圏（介護も含む）に関する分析を求めます。</p>				
<p>e-mail・研究室 (連絡先)</p>	<p>関田康慶：yasuyoshi.sekita.d2@tohoku.ac.jp 加藤智章：truite0641y@yahoo.co.jp</p>				

授業科目名 (科目区分)	担当教員 職・氏名	対象者	開講時期	単位数	時間 数	必修・選 択の別	科目等 履修生
保健医療と教育論 (共通科目)	教授・藤井 浩美 名誉教授・佐竹 真次	博士前期課程 1年	通年	4	60	選択	否
授業概要	保健医療専門職養成の教育内容の最新知見を基に理解できるようにする。						
一般目標	保健医療専門職養成の教育内容の最新知見を基に説明できる。						
到達目標	認知領域：保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解できる。 情意領域：客観的知見に係わる全容を説明できる。 精神運動領域：最新の情報を収集できる。 以上を通じて、保健医療教育を実践できる。						
成績評価方針 評価方法 および基準	グループ討議度：25%（6回）とレポート 討議への参加度：25%（6回）とレポート 最終レポート：50% 保健医療専門職の教育開発が可能か否かを判定する。						
授業形式	対面授業を基本とするが、状況により遠隔授業（録画形式または配信形式）で実施する。						
授業計画							
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当		
1-4	後日連絡	保健医療専門職の教育	ICF を基本に教育のあり方を説明 できる。		藤井		
5-8		科目と授業設計	カリキュラム構成やシラバス作成 ができる。		藤井		
9-12		臨床実習指導法	臨床実習教育目標や指導法および 学生評価を説明できる。		藤井		
13-16	5. 7.22（土） 1-6	教育の役割	保健医療専門職に至るまでの系統 的教育の役割を学び、討議で定着す る。		佐竹		
17-20	5. 7.23（日） 1-6	青年心理・教育心理	青年と教育心理を理解し教育に反 映できる。		佐竹		
21-24		教授方法と教育評価	方法を理解し定着させる。		佐竹		
25	後日連絡	保健医療専門職と社会 保障制度	社会保障制度を教育者の側に立っ て説明できる。		藤井 スポット		
26		臨床実習のあり方	臨床実習教育を説明できる。		藤井 スポット		
27		青年期の心理的特徴	青年期心理を理解し、教育に反映 できる。		藤井 スポット		
28		教育研究法	教育研究法を理解し、定着させる。		藤井 スポット		
29		授業と成績評価	授業と成績評価ができる。		藤井 スポット		
30		管理と運営	保健医療専門職養成に必要な管理 と運営を理解する。		藤井 スポット		
教 科 書 参 考 図 書	必要に応じて資料を配布する。						
履 修 上 の 注 意	講義日程は、受講者の状況（一般・社会人）によって変更可能ですので、事前にご相談ください。						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	目的意識を持って臨んでください。						
e-mail・研究室 (連絡先)	藤井 浩美：研究室 27 hfujii@yachts.ac.jp 佐竹 真次：g.ssatake@yachts.ac.jp						